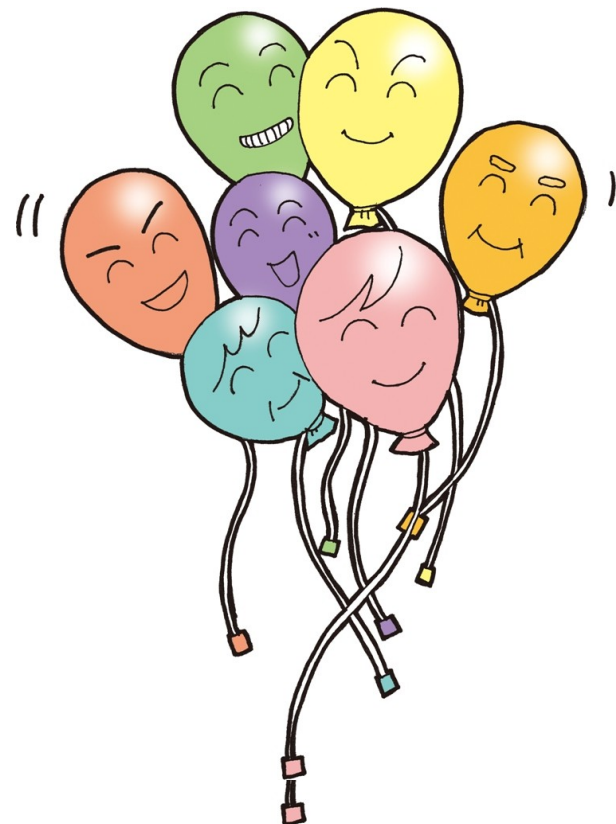


平成21年度

男女共同参画推進事業報告書

- 1 第3次会津若松市男女共同参画推進プラン改訂版に基づく事業・・・P 1～P 15
- 2 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく事業・・・P 16
- 3 その他の事業・・・P 16



会津若松市企画政策部企画調整課

基本理念

すべての市民が、性別にかかわらず、一人の人間として尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができ、あらゆる分野にともに参画し、支え合い、責任を担う社会を目指します。

《基本目標》

I 男女平等のための意識づくり

II 男女共同参画の社会環境づくり

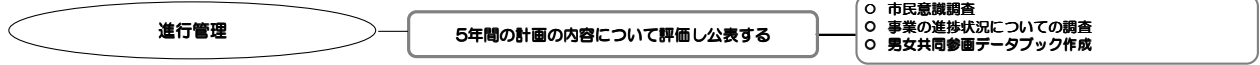
III 人権が侵害されることのない社会づくり

《施策の方向性》

- 1 反発・誤解解消
- 2 子どもの基点化
- 3 男性のチャレンジ/家族いきいき
- 4 女性のステップアップ
- 5 国際理解と国際交流活動の推進
- 6 男女がともに働きやすい環境づくり
- 7 女性のチャレンジ支援
- 8 市民主役化
- 9 男女共同参画推進活動のネットワーク化
- 10 市役所が率先していく改革
- 11 拠点となる機能の整備
- 12 調査/情報収集と提供
- 13 権利擁護

《重点事業》

- 1 情報紙等による広報・啓発
- 2 関係図書・ビデオの整備
- 3 出前講座等の実施
- 4 男女混合名簿導入の推進
- 5 男女平等に関する作文募集
- 6 教育の場における男女平等教育の推進
- 7 生きるための性教育の推進
- 8 おもしろい・楽しい、家事育児事業
- 9 家族いきいき事業
- 10 家族経営協定推進事業
- 11 女性のためのステップアップ講座の実施
- 12 「きらめき女性塾」の開催
- 13 女性の人材情報の整備
- 14 審議会等の女性登用促進
- 15 国際理解と国際交流活動の推進
- 16 事業主理解促進
- 17 男女共同参画推進事業者表彰
- 18 就労・生活環境などの整備促進
- 19 子育て家庭への各種サービスの充実
- 20 女性の就業支援
- 21 農村女性の活動支援
- 22 NPO活動支援事業
- 23 男女共同参画推進活動のネットワーク化
- 24 庁内推進体制の充実・強化
- 25 女性職員のエンパワメント/女性職員登用の促進
- 26 セクシュアル・ハラスメント防止事業
- 27 育児休業等取得しやすい環境の整備
- 28 拠点となる機能の整備
- 29 市民意識調査・実態調査の実施
- 30 統計資料等の整備
- 31 刊行物の表現の見直し
- 32 女性への暴力の根絶
- 33 相談窓口の拡充
- 34 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の浸透



1 第3次会津若松市男女共同参画推進プラン改訂版に基づく事業

実施区分/A：今後も引き続き実施する B：平成22年度新規事業 C：平成23年度以降に事業予定 D：引き続き検討 E：平成21年度事業完了

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標 (期待)値	担当課
男女平等のための意識づくり	反発・誤解解消	1	情報紙等による広報・啓発	各種パンフレットの活用	各種講座、研修会及び行政視察等において、パンフレットを活用し意識啓発を図った。 既存の啓発パンフレット 第3次男女共同参画推進プラン改訂版 第3次男女共同参画推進プラン改訂版ダイジェスト版 「こころのガイドブック男女が“ともに生きる”社会をめざして」	0	A		企画調整課
				情報紙の作成	ボランティアの編集委員を一般公募し、男女共同参画情報紙「ばーとなー」を発行して、市民の意識啓発を図った。 編集委員 8名 全世帯配布(52,000部作成) 2月1日号の市政だよりに挟み込み	368	A		
				情報メールの配信	男女共同参画情報メールの配信 配信回数 12回	0	A		
		2	関係図書・ビデオの整備	「男女共同参画コーナー」の整備	男女共同参画関係図書を購入し、会津図書館内の男女共同参画コーナーの拡充を図った。 平成21年度購入図書 11冊 (平成21年度末現在117冊)	20	A		企画調整課
					男女共同参画コーナーへ関係図書の整備を行った。 購入冊数 4冊 (※寄贈冊数 13冊)	8	A		会津図書館
		3	出前講座等の実施	出前講座	出前講座の実施 内容：「第3次男女共同参画推進プラン改訂版について」 実施回数：2回 ①実施月日：7月15日 団体名：男女共同参画をすすめる会 受講者：23名 ②実施月日：8月26日 団体名：企画室ME 受講者9名	0	A		企画調整課
		その他	男女共同参画基礎講座の実施	福島県男女共生センター行事への参加	男女共同参画の市民意識啓発のため、市民参加を募り参加。 ①「未来館フェスティバルイベント」への参加 日時：9月5日(土) 場所：福島県男女共生センター(二本松市) 内容：映画「受験のシンデレラ」上映&「和田秀樹監督のトーク」 参加者：9名 ②「未来館誕生10年記念事業」への参加 日時：3月22日(月) 場所：福島県男女共生センター(二本松市) 内容：未来館誕生10年記念表彰式及び下村満子館長講演・大討論会 参加者：21名	6	A		企画調整課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標 (期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	2 子どもの 基点化	4	男女混合名簿導入の推進	男女混合名簿の重要性についての理解を広め、男女混合名簿導入を推進する	男女混合名簿の全小中学校導入完了。	0	A	目標・現状値 100%	学校教育課
		5	男女平等に関する作文募集	男女平等に関する作文コンクールを実施し、優秀者を選定し表彰	対 象：市内の小中学生 応募者数：計236名 (小学生低学年の部8名、小学生高学年の部120名、中学生の部108名) 賞：団体 学校賞 城南小学校 個人 選考により優れた作品14点が入選（最優秀賞3点、優秀賞11点） ○表彰式：平成22年2月20日（土） 男女共同参画都市宣言10周年記念行事にて表彰状を授与した。 また来場者に「作文コンクール作品集」を配付、受賞者の代表が作文朗読をして啓発を図った。 ○市内各小中学校に「男女平等に関する作文コンクール小中学生入選作品集」を配布し、男女平等についての意識高揚を図った。	79	A		企画調整課
				男女平等に関する作文コンクールの実施について周知	校長会議において、応募について協力を依頼するとともに、対内文で各学校に積極的な応募を依頼した。	0	A		学校教育課
		6	教育の場における男女平等教育の推進	出前講座の実施	「子ども人生講座」を実施。（企画調整課） 実施にあたり学校現場とのコーディネイトに努めた。（学校教育課） 対象：小学校5又は6年生 講師：外部講師 内容：「男女平等について考える」（コース1） 実施校：平成21年度は市内全小学校（19/19校）で実施した。 （対象学年をクラス毎、のべ48回の授業を実施） ※ H18 9校36回、 H19 7校（29回）、 H20 11校（40回）	240	A	小中学校全校実施	学校教育課 企画調整課
		7	生きるための性教育の推進	学校教育の中で性教育を推進	各学校が、性に関する全体計画等に基づき、関係教科等（体育、学級活動等）において実施し、その一部を実践事例集として取りまとめた。	0	A		学校教育課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ／家族いきいき	8	おもしろい・楽しい、家事育児事業	講座の開催	〔男の居場所づくり講座〕 団塊の世代を中心に（50歳以上の男性）、家庭でもなく、職場でもない場所に「男の居場所」を見つけ、つくろうという講座として開設。 受講者数：16名（のべ93名） 実施回数8回（7/12～12/13） 内容：環境や健康について考え、地域とのかかわりや実生活に役立つ講座を開設。城下町を歩く、自然探勝、そばの料理講習など	62	A		中央公民館
				子育て支援事業	〔育児支援〕 地域支援事業として福島大学学生のサークルとの共催で未就園児及び小学生低学年の児童等を持つ親子への育児支援を行った。	0	A		南公民館
				講座の開催	〔ここが私の出番〕 男の料理実習を通じて日常生活に役立つ知識や技術を習得しながら、家庭内での男性の役割について考えた。 受講者数：12名（のべ30名） 実施回数：5回（6/14～12/13） 内容：シュウマイづくり、握り寿司、まき寿司、魚のおろし方、そば打ち	35	A		北会津公民館
				講座の開催	〔大戸の茶の間〕 地域の方々がいつでも集い、楽しみながらさまざま学習ができるような場の提供を行った。	7	D		大戸公民館
	9	家族いきいき事業	講座の開催	〔高齢者大学校「あいつわくわく学園」〕 高齢者自らが意欲的に仲間づくりの輪を広げ、健康と生きがいの目標を見出し、高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育てることを目指し開催した。 ○人に好かれる話し方、聞き方（1回） 受講者数：37名 実施月日：5月26日 内容：「相手への思いやり」を基本とした行動を学習する。 ○会津の食文化（講義1回・調理実習1回） 受講者数：のべ77名 実施月日：12月15日、2月9日 内容：講義により郷土食の知識を深め、調理実習を通じて自己の役割と協力の重要性を学習する。	21	A		高齢福祉課	
			講座の開催	〔親子で作る料理教室〕 親子での料理教室を実施。母親や父親の参加あり。 受講者数：のべ21組45名 実施回数：3回（2/14～3/14）	34	E		東公民館	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ／家族いきいき	9	家族いきいき事業	講座の開催	〔家族でチャレンジ!〕 家族生活を営む方法として、単純な性別役割分担の発想に固執することなく、家族の各々が持っている条件や個性、得意なことなどを考慮したユニークな家族の役割分担の発見を目指す。 受講者数：3組6名 実施回数：1回（2/26） 内容：親子によるうどん・そば打ちなど共同作業体験活動を実施。	11	A		中央公民館
				講座の開催	〔親子ふれあい広場〕 親が、豊かな心とたくましい身体を育て、子どもの成長に必要な親子のふれあいと参加者同士の交流を深めながら、さらにそこから生まれる輪が社会参加の第一歩となり、子育てが楽しくなることをねらいとする。 受講者数：のべ79名 実施回数：9回（5/17～3/6）	109	A		北公民館
				講座の開催	〔ジュニアのためのスイーツ教室〕 夏休みの期間に限定した、中学・高校生の男女を対象とした料理（スイーツ）教室を開催した 受講者数：のべ62名 実施回数：4回（7/21～8/18） 〔料理教室〕 チャレンジキッズ及びボランティア養成講座の中で料理教室を実施。 特に後片付けなどに重点をおいて、積極的な家事参加を指導。 受講者数：のべ29名 実施回数：2回（6/21・12/13）	0	A		南公民館
				講座の開催	〔わらべ塾・warabeマイスターズクラブ〕少年教室 子ども達が、自然体験を通して様々な知識を得るための講座を開催。その講座は、子どもの保護者、地元のサークル、地域の人々等と協働で実施している。 受講者数：のべ185名 実施回数：13回（5/22～3/28）	340	A		大戸公民館
		10	家族経営協定推進事業	家族経営協定の推進	○農業者の農業経営改善計画申請時に「家族経営協定」について周知を図った。 協定締結件数：35件 ○男女共同参画推進セミナー（農林事務所主催）への参加を呼びかけた。	—	A	将来目標値 73件	農政課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	4 女性のステップアップ	11	女性のためのステップアップ講座の実施	講座の開催	<p>[女性のためのステップアップ講座] 一人ひとりが個性と能力を発揮し、「自分らしく生きる」ことを考えるきっかけづくりのための講座を開催した。</p> <p>受講者数：24名 延べ61名 内容：全3回 7/2、7/9コミュニケーション講座「セルフコーチングのすすめ」 (有)クレメンティア 代表取締役 大堀 満氏 7/23 男女共同参画の基礎講座 (元市男女共同参画審議会委員 佐川成美氏)</p>	45	A		企画調整課
				講座の開催	<p>[アクションレディース] 社会情勢の変化に対応し、学習・実践活動を通し、女性の生き方を学び、相互研修により生活能力の幅を広げる。平成21年度は「環境問題を考える」を重点テーマとして学習した。</p> <p>受講者数：延べ55名 内容：全9回</p>	48	A		北公民館
		12	「きらめき女性塾」の開催	講座の開催	<p>政策決定の場に参画できる人材を育成するため、女性のエンパワーメント研修を行った。</p> <p>講座回数：8回 受講者数：21名 延べ111名 内容：全8回 8/20 市政について、市の男女共同参画の状況 (市職員) 9/26 スピーチ・自己表現の方法、論理的・説得力のある話し方 (アナウンサー&マナー講師 岡田友子氏) 10/17 問題解決に導くための会議の進め方、会議での発言の仕方 (アズ・コミュニケーション代表 前田文氏) 11/5 市議会議員の講話、意見交換会 (市議会議員副議長・本田礼子氏) 11/28 DV防止の講話、10代の性と生をむすぶ絆 (東北福祉大学教授・渡部純夫氏) 1/14 市政を知る(まちづくり施策等) (市職員) 2/20 男女共同参画都市宣言10周年記念講演 (経済アナリスト・森永卓郎氏) 3/18 地方行政への女性の参画の必要性 (男女共同参画審議会委員・武藤みや子氏)</p>	45	A		企画調整課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	4 女性のステップアップ	13	女性の人材情報の整備	人材リストの作成	人材リストの活用し、女性登用を図る。 登録者11名 〔過去の活用状況〕 男女共同参画審議会委員 2名、社会教育指導員 1名 中央公民館事業懇談会 1名、行政機構審議会 2名 行政システム改革懇談会 2名、景観審議会委員1名	0	A		企画調整課
				人材リスト登録への呼びかけ及び人材リストの活用の紹介	きらめき女性塾 第8回において市の審議会について講演し、その中で人材リストへの登録を促し、理解促進をはかった。	0	A		人事課 企画調整課
		14	審議会等の女性登用促進	審議会等の女性委員の登用	市の政策形成過程である審議会等の委員を選定する際、「附属機関の運営及び委員構成に係る基準」の遵守を徹底するよう庁内の男女共同参画推進員研修会の機会を活用し、各所属に対し働きかけを行った。 審議会等における女性委員の割合：H21.4.1現在20.5%、H22.4.1現在21.5% (各行政委員会・広域除く)	0	A	女性委員の割合 目標値 30.0% (H28)	人事課
				審議会等の女性委員の登用	審議会と行政委員会の委員を含めた中での女性委員の比率の30%の目標値に対して、僅かに増加傾向にあるものの依然として低い状況にある。 庁内の男女共同参画推進員研修会の際に、人事課から審議会等の女性委員の登用促進を各所属に働きかける機会を設け、女性委員の登用促進のための公募・人選・推薦依頼のあり方についての周知に努めた。 H19.4.1現在18.3%、H20.4.1現在18.6%、H21.4.1現在19.1%、 H22.4.1現在19.9%、	0	A	女性委員 (行政委員会含む)割合 目標値 30.0% (H28)	企画調整課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	5 国際理解と国際交流活動の推進	15	国際理解と国際交流活動の推進	講座の開催	〔おいしく食育料理教室〕 在住外国人と市民のふれあいの場を設け、様々な生活習慣への理解を深める。 参加人数：19名、実施回数：1回(9/11) 内容：中国の家庭料理教室。	30	A		大戸公民館
				講座の開催	〔げんき塾〕 青少年教育事業としての全8回の講座の中でJICA二本松の見学やスリランカのカレー作りを行った。 4回目8/6 JICA二本松の見学(10名) 7回目11/14スリランカのカレー作り(11名)	18	A		一箕公民館
				講座の開催	〔ホームステイ受入家族のための英会話教室〕 ホームステイ受入時に使える英語をアメリカとイギリスの方から指導いただいた。 双方の違いを感じ取ることができ、また、実際に受講生をホームステイ受入に繋ぐことができた。 受講者数：のべ27名 講座回数：7回(5/27～9/9)	30	E		東公民館
				講座の開催	〔原語で歌う世界の唄〕 世界の唄を原語で歌うことにより、歌詞の意味を知り、曲が作られた時代的背景や歴史を学ぶとともに、国際理解を深め交流を図る。平成21年度は「イギリス民謡・アメリカの唄」を学んだ。 参加人数：のべ168名、実施回数：11回	97	E		北公民館
				情報提供	他の公民館の講座を紹介	0	D		南公民館
				福島県男女共生センター行事の周知、参加案内	○県男女共生センター主催の「女性の海外研修派遣事業」について募集案内を行った。 募集期間：4月1日～4月30日 ○県男女共生センター主催で2月27日(土)開催の「未来館国際シンポジウム」の参加案内を行った。	0	A		企画調整課
				会津若松市国際交流協会における異文化交流事業	会津若松市国際交流協会に負担金を支出し、国際交流フェスティバルやワールドツアー(文化紹介講座)などの事業を実施し、市民と在住外国人が交流し、互いの文化や価値観の違いを学ぶ場を設けた。 ○国際交流フェスティバル 11/1(日) 場所：アピオスペース、 来場者：約3,500人 ○ワールドツアー(文化紹介講座) 4/19(日) エコなお花見(111名) 6/20(土) チリの文化紹介(24名) 7/16(木) ベトナムの料理教室(14名) 9/25(金) コロンビアの文化紹介とダンス(17名) 10/18(日) アメリカミズーリ州の紹介(8名) 2/21(日) ブルガリアの文化紹介とダンス(16名)	—	A		企画調整課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	6 男女がともに働きやすい環境づくり	16	事業主理解促進	事業主に対して、「男女共同参画推進状況報告書」の提出を依頼	市ホームページ(入札契約情報ページ)に男女共同参画推進事業についての説明を掲載するとともに、市の登録業者に対して入札参加資格審査(新規・更新)の際に「男女共同参画推進状況報告書」の提出を依頼し、男女共同参画に対する理解を求めた。	0	A		企画調整課 契約検査課
				工事入札の総合評価方式試行導入において男女共同参画の推進を評価項目として設定	工事の制限付一般競争入札の総合評価方式試行導入において、「企業の地域社会に対する貢献度等に関する評価」の評価項目のひとつとして「男女共同参画の推進」を設定し、会津若松市男女共同参画推進条例第6条(事業主の責務)に基づいた男女共同参画の取り組みがある場合に評価点を加点することとし、入札参加者(事業主)に対して意識啓発を図った。	0	A		契約検査課
				パンフレットを送付し意識啓発を図る	国、県等のパンフレットをダイレクトメールで企業409社に送付し啓発を図った。	—	A		企画調整課
		17	男女共同参画推進事業者表彰	男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる企業等を表彰	「男女共同参画推進状況報告書」提出事業者の内、市内に事業所がある事業者、及び応募事業者の中から選考。応募数を増やすためにダイレクトメールで事業者409社に送付し1社から応募があった。対象事業数 182件(提出事業者のべ1,507件のうち市内に事業所がある件数)の中から、「男女共同参画審議会」の中で厳正な書類審査を行い、H21年度は秋山ユアビス建設(株)の1社を表彰した。	44	A		企画調整課 商工課
		18	就労・生活環境などの整備促進	関連ポスター・パンフレット等の掲示及び事業者への配布	福島労働局、21世紀職業財団、福島県男女共生センター等との連携により、当該団体が作成した各種関連ポスター・パンフレットにより情報提供を実施した。 ・パンフレット等の主な設置場所 契約検査課(市登録業者への対応) 各公民館、商工課内、会津若松商工会議所、中小企業勤労者福祉サービスセンター(アシスト)	0	A		商工課
		19	子育て家庭への各種サービスの充実	保育サービスの実施・子育て支援援助活動の支援	○仕事と子育ての両立のために、通常保育をはじめ、延長保育や休日保育、病後児保育など多様な働き方やニーズに対応した保育サービスを実施した。 ○個々のニーズへの柔軟な対応を図るため、子育ての支援を受けたい人と援助を行いたい人の連絡や調整等を行う子育て援助活動(ファミリー・サポート・センター事業)に対し支援を行った。	1,859,252 233	A		児童家庭課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	7 女性のチャレンジ支援	20	女性の就業支援	講習会、相談会等の開催	<p>○関連団体との連携により、女性対象とした講習会や相談会を開催した。 〔女性のための託児付き就職・再就職準備セミナー〕</p> <p>主催：県男女共生センター／共催：会津若松市 会場：会津若松市勤労青少年ホーム 実施期間：11/9～11/11（3日間） 参加者：9名 内容：ビジネスマナー、文書作成、インターネット活用</p> <p>○女性就業相談コーナーの活用 市へ求職の問い合わせをした女性に対し、県男女共生センターの女性就業援助相談員が常駐する会津地方振興局「女性就業相談コーナー」を紹介し、女性の求職活動を支援。</p>	0	A		商工課
				休業期間の経済的支援	<p>福島県育児・介護休業者生活資金利子補給 県の当該制度の利用者に対し利子を補給し、休業期間中の経済的負担軽減と生活の安定を図る。 (H21年度は資金借入れ者がいなかったため、補給実績無し)</p>	0	A		商工課
		21	農村女性の活動支援	各種研修会等への参加	<p>農家の女性により結成された会津若嫁会の活動を支援した。 (会津農家・若嫁プロジェクト実行委員会主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR販売方法の取得（参加者3名、来場者87名） ・モニターツアーの開催（参加者2名、モニター2名） 	—	A		農政課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	8 市民主役化	22	NPO活動支援事業	男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金の交付	○週間記念行事・「男女共同参画イベント」事業補助(300,000円) ①第3回男女共同参画イベント 実施日:7月4日(土) 場所:文化センター 参加者:約1,200名 内容:在京民放テレビ局アナウンサー講演会 「息子3人アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」 介護を題材とした映画「折り梅」上映 ワークショップ他	355	A		企画調整課
					○研修・啓発活動開催事業補助(29,800円) ①男女共同参画都市宣言10周年記念行事の際の市民企画 ・ワークショップ「ワーク・ライフ・バランスを知ってますか?」 ・展示「男女平等の原点をたどりつつ真珠の会の歴史をたどる」 ②市民公開講座 「高齢社会が進む中、高齢者が自立して社会活動に参加するための公共交通の問題について」				
						○研修参加費補助(25,000円) ①「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」2名参加 ②「男女共同参画のための研究と実践の交流フォーラム」2名参加 ③「内閣府男女共同参画・子育て支援推進事業東京セミナー」2名参加			
	9 男女共同参画推進活動のネットワーク化	23	男女共同参画推進活動のネットワーク化	ネットワーク加入者の募集	男女共同参画都市宣言10周年記念行事の際にネットワーク加入団体について紹介パンフレットを配付し、加入を呼びかけた。 年度末登録状況:市民団体19・企業1・個人2	—	A		企画調整課
情報の提供				市及び国、他自治体、他団体が開催する男女共同参画関連事業について情報の提供を行った。(ネットワーク通信のメール配信等)		A			
会議の開催				男女共同参画推進活動ネットワーク加入団体会議を開催し、情報の共有及び団体間のコミュニケーションを図った。 会議開催数:5回 議題:男女共同参画推進拠点機能、 男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金の実施報告 市民団体と市男女共同参画行政連絡会議との意見交換の場について、 市・県の講座情報	0	A			

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施区分	目標 (期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	10 市役所が率先していく改革	24	庁内推進体制の充実・強化	男女共同参画チェックリストを作成・検証し、職場環境の改善を図る	<p>職員の意識向上と職場環境の改善を図るため、各所属長及び男女共同参画推進員により男女共同参画チェックを実施した。</p> <p>実施年度：第3次プラン改訂版の計画期間1年目（H21）及び3年目（H23） 対象期間：平成21年4月～11月 実施内容： ①男女共同参画推進委員が所属課のチェックリスト作成（11月20日～11月30日） ②所属長はチェックリストを参考に改善策を男女共同参画推進員と協議して実施し、改善報告書を提出（12月28日まで） ③結果のとりまとめ ④男女共同参画行政連絡会議への報告（3月25日） 結果：職場環境、接遇、事業計画・実施、文書・広報物の項目で概ね配慮・実施されているが、審議会等の女性登用について多くの所属で課題があるとした。</p>	0	A		企画調整課 人事課 全 庁
				男女共同参画推進員の設置	各所属に男女共同参画推進員（副主幹相当職）1名を配置し、パンフレット・情報紙等を職員回覧し、またグループ内打合せや職場内研修の場で意識の啓発を図るなど職場における男女共同参画の意識づくり・より良い環境づくりに努めた。	0	A		企画調整課 全 庁
				研修会の開催	<p>研修会の開催 実施月日：5月26日 出席人数：男女共同参画推進員40名他6名 受講者：男女共同参画推進員他 テーマ「男女共同参画とは」 講師：会津若松市男女共同参画審議会委員 武藤みや子氏</p>	7	A		
				情報の発信、各職場における意識啓発	国、県の情報及び福島県男女共生センター広報誌「未来館NEWS」等を各所属へ配布し、職員の意識啓発を図った。	0	A		
				男女共同参画に関する職員研修の実施	平成21年度新規採用職員を対象とする「新採用職員後期研修」において男女共同参画をテーマとする研修を実施した。 受講者：平成21年度新規採用職員14名 講師：企画調整課 男女共同参画推進グループ職員 時間：80分	0	A	人事課 企画調整課 関係各課	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課			
II 男女共同参画の社会環境づくり	10 市役所が率先していく改革	25	女性職員のエンパワメント/女性職員登用の促進	女性職員のエンパワメントのための研修会を開催し、職務遂行能力と意欲の向上を図る	<p>[女性のためのエンパワメント研修]</p> <p>平成21年度については、女性職員の仕事や昇任に対する意識改革を目的とし、より受講者の共感が得られるよう同じ行政組織である福島県において管理職として活躍している女性を講師に迎え、講演会を実施した。 受講者：女性職員 20名 (女性職員のみを対象とした。) 講師：福島県総務部職員研修課副課長 ((財) ふくしま自治研修センター派遣) 吉成 宣子氏 内容：県職員としてどのように仕事に取り組んできたのか。 どのように仕事と家庭生活の両立を図ってきたのか。 時間：3時間</p> <p>※参考 平成21年度女性職員の研修会等参加率実績値 33% (平成21年4月の職員総数に対する女性職員の割合31.5%)</p>	5	A	目標値 女性職員の研修会等参加率 (職員総数に対する女性職員の割合同程度)	人事課 企画調整課 関係各課			
				女性職員登用の促進	<p>管理監督者への女性登用の促進</p> <p>副主幹職以上女性割合 目標30% H21.4 36名/303名=11.9% H22.4 34名/295名=11.5% ※女性の割合が減少した原因は、管理監督者の退職者が多かったため 《参考》 市職員全体の中での女性職員の割合 H21.4. 326名/1,035名=31.5% H22.4. 315名/1,001名=31.5%</p>					0	A	目標値 副主幹職以上の女性割合 30%
		26	セクシュアル・ハラスメント防止事業	セクシュアル・ハラスメントの実態調査	<p>・「セクシュアル・ハラスメントアンケート」を職員対象に行った。 実施期間：平成22年1月18～1月22日 ・アンケート調査結果を受けて、所属長宛の対内文で注意喚起を図った。</p>	0	A		人事課			
				セクシュアル・ハラスメント防止のための情報提供	<p>セクシュアル・ハラスメント防止のために情報紙「ストップ・セクハラ」を発行し、セクハラに関する情報の提供や苦情相談窓口の周知を行った。 ○「ストップセクハラ」発行 (H21年度2回 1/12、3/11発行) ○セクハラ苦情相談件数 (H21年度 1件)</p>					0	A	人事課
				職員が相談しやすい体制や環境を整備	<p>情報紙「ストップ・セクハラ」を通じ、「セクハラ苦情相談室」の存在や相談の流れ等について周知を図った。</p>							
27	育児休業を取得しやすい環境の整備	<p>女性職員に加え、男性職員も安心して育児休業を取得できる環境づくりを行う。</p>	<p>特定事業主行動計画「会津若松子育て支援プラン」を通じ、男性職員の育児休業等取得率目標値である10%達成に向け、庁内イントラネット等に各種休暇にかかる冊子等を掲載するなど取得の促進に向け情報の提供を行った。 また、育児に関する休暇制度について理解を深め、男女とも育児休業やそれ以外の育児参加の休暇取得がしやすい職場環境醸成を図った。</p>	0	A	男性職員の育児休業取得率目標値 10.0%	人事課 全 庁					

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施区分	目標 (期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	1 1 の整備 拠点となる機能	28	拠点となる機能の整備	情報の収集	男女共同参画推進活動ネットワーク加入団体会議の中で拠点となる機能・施設についての意見交換を行った。	0	A		企画調整課
		1 2 調査／情報収集と提供	29	市民意識調査・実態調査の実施	市民意識調査・実態調査の実施	男女共同参画に関する市民意識調査を定期的実施し、計画の見直し等への活用を図るほか、調査結果を公表することで市民意識の啓発を図る。 次回全市的に調査するのは、計画策定作業の前年度であるH24年度を予定。	0	C	企画調整課
	会津若松市地域新エネルギービジョン市民意識調査			会津若松市地域新エネルギービジョンの改訂に際し、市民の意識調査を実施した。 集計に際しては、男女別、年齢別集計を実施し、各々の意識ニーズの分析に努めた。	—	E	環境生活課		
	30	統計資料等の整備	男女共同参画データブックの更新	随時、情報収集を行い、男女共同参画データの更新を行った。	0	A		企画調整課	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
Ⅲ 人権が侵害されることのない社会づくり	13 権利擁護	31	刊行物の表現の見直し	広報紙やパンフレットの表現の見直し	市で発行する広報紙等について「県政広報物表現ガイドライン」に沿った表現とするよう推進員研修会の時に周知した。	0	A		企画調整課
				広報紙やパンフレットの表現の見直し	個人情報などの保護に最大限配慮するとともに、刊行物などの表現についても一方の性に偏らないように配慮している。	0	A		
				情報提供	市のホームページから福島県ホームページの「県政広報物表現ガイドライン」へリンクを設定し、誰もが容易に確認できるように努めた。	0	A		
				市政だよりの編集において、固定的な性別役割分担意識に基づく表現の掲載を行わない	固定的な性別役割分担意識を助長するような表現を使用しないように、「県政広報物表現ガイドライン」に沿った表現を用いて市政だよりの編集を行っている。	—	A	秘書広聴課	
		32	女性への暴力の根絶	市民への啓発	DV相談窓口周知のためのカードを作成し、公共施設等へ設置した。 ※ドメスティック・バイオレンス(DV)：配偶者や恋人など、親愛な関係にある者から振られる暴力をいう。	—	A	児童家庭課	
				市民への啓発	市政だよりにDVに関する記事を掲載したり、ポスター等を掲示し市民への啓発を図った。	0	A	児童家庭課 企画調整課	
				DV防止キャンペーンの開催	国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中にDV防止キャンペーンを開催し、特設相談窓口を設置し相談会を開催するとともに啓発活動を行った。 ○女性への暴力の根絶「DV防止キャンペーン」講演会及び相談会 場所：中央公民館 内容：11月28日(土) ①講演会 参加者：70名 「10代の性と生をむすぶ絆～家庭、学校、地域のあり方」 講師・東北福祉大学 教授 渡部純夫氏 ②特設女性福祉相談会 相談者：0名 女性相談員 松本幹子氏 ○国際ソロブチミスト会津と合同で啓発活動 場所：アピタ 内容：11月21日(土) DVチェック周知カード入りティッシュ配付	25	A		

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
Ⅲ 人権が侵害されることのない社会づくり	13 権利擁護	33	相談窓口の拡充	一般相談	日常生活での悩みや行政への問い合わせ等の相談を職員が受け付ける。相談内容によって無料法律相談等専門的な相談機関の紹介や関係各課・各相談機関相互と連携を図り対応した。	0	A		環境生活課
				専門相談	○消費生活相談 専門の相談員による消費生活相談室を設置し実施 消費生活にかかわる相談としているが、家庭内の暴力、金銭トラブル等の相談も多く、家庭相談員・女性相談員と連携を図って対応した。 相談員：2名 相談時間：8:30～17:00	5,208	A		
				○無料法律相談 県弁護士会会津若松支部に依頼し実施 年12回、1回の相談定員は12名	630	A			
				○特設人権相談 若松人権擁護委員協議会の協力により実施 年7回	0	A			
				○行政相談 総務省委嘱行政相談委員の協力により実施 旧若松、北会津、河東の各地域で年7回	0	A			
				○登記・宅地建物相談 司法書士会・土地家屋調査士会・宅地建物取引業協会の協力により実施。 (登記相談 年12回、宅地建物相談 年6回)	0	A			
				○公証相談 公証人の協力により実施 年12回	0	A			
				○行政書士相談 行政書士会の協力により実施 年6回	0	A			
				○女性福祉相談室の設置 女性福祉相談室に専門の女性相談員を配置し、相談業務を実施した。 ○相談窓口の周知 市政だよりに女性福祉相談室の概要を掲載し、市民への周知を図った。 ○パンフレットの活用 児童家庭課窓口女性相談窓口のパンフレットを置き、周知を図った。	2,529	A			
				○会津若松市男女共同参画苦情処理委員会 委員：3名(弁護士1名・有識者2名) 平成21年度 苦情申出件数：0件 苦情申出がなかったため委員会を開催しなかった。	0	A			
	34	リプロダクティブ・ヘルズ/ライツに関する意識の浸透	情報の提供	リプロダクティブ・ヘルズ/ライツについて認識を深めるための情報の提供に努める。 ※リプロダクティブ・ヘルズ/ライツ：男女の対等な関係の下に、互いの性に関する理解及び決定が尊重されるとともに、生む性としての女性の生涯にわたる健康及びその権利をいう。	—	A		企画調整課	

2 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく事業

機関名	内 容	決算額 (千円)
会津若松市男女共同参画 審議会	委員：10名（男女同数／学識経験者6名・一般公募4名） （現任委員の任期 平成20年10月17日～平成22年10月16日） 審議会開催：2回（10/16、11/13） 報告事項：平成20年度男女共同参画推進事業について報告 審議事項：「男女平等に関する作文及び優良企業表彰に関する審査」などについて審議	105
会津若松市男女共同参画 苦情処理委員会	委員：3名（弁護士1名・有識者2名） 苦情申出件数：0件 苦情処理委員会開催無し	0

3 その他の事業

事業名	内 容	決算額 (千円)	実施区分
男女共同参画週間事業	〔福島県男女共生のつどい〕 男女共同参画週間に合わせて開催される標記行事に、市民の男女共同参画理解促進のため市民参加者を募り参加。 日時：平成21年6月27日（土） 場所：いわき芸術文化交流館アリオス 参加者：35名 / 内容：ワークライフバランスをテーマとした基調講演、フリートーク等	7	A
	〔男女共同参画週間の周知〕 市役所本庁舎正面玄関の公告板に期間を周知するプレートを掲示するとともに、国作成のポスター、チラシなどを各公民館等に掲示して啓発を図った。	0	A
男女共同参画都市宣言10 周年記念行事	日時：平成22年2月20日（土） 場所：文化センター 参加者：500名 内容 ①記念式典 ・男女共同参画都市宣言功労感謝状贈呈式 ・男女平等に関する作文コンクール及び男女共同参画推進事業者表彰式 ②講演会 獨協大学教授・経済アナリスト 森永卓郎さん記念講演 「男と女のあり方が変わる 経済も変わる」 ③市民企画による展示・ワークショップ等	505	E